

PTA等指導者人権教育研修会を開催しました。

令和8年7月3日(金)にグリーンヒルズ津山リージョンセンターで、「PTA等指導者人権教育研修会」を開催し、津山教育事務所管内の学校園のPTA等から約100名の参加がありました。ありがとうございました。

講演 「子どもの心を育てる ～子どもの権利条約×非認知能力の育成～」 All HEROs

代表 中山 芳一 氏



著書「**やってはいけない子育て**」
(日本能率協会マネジメントセンター)
ぜひ、読んでみてください。

非認知能力とは、テストの点数のように「共通の物差し」で測れる能力(認知能力)とは異なり、数値化しにくい内面的な力のこと。「心の力」と言い換えることができます。3つの柱として
☆自分と向き合う力：感情コントロール、失敗しても立ち直る力
☆自分を高める力：自ら進んで取り組む意欲や、自信
☆他者と繋がる力：周囲と協力し、相手を思いやる力

家庭や学校でできることとして、
「**結果**」より「**変化**」を褒める：テストの点数結果よりも、そこに至るまでの気持ちの切り替えや努力の過程を褒めることが重要。
適切な問いかけ：「何があった？(出来事)」「どう思った？」だけでなく、「どうしてそうなった？」「次はどうする？」という問いを投げかけることで、思考を深めさせます。
やってはいけない子育てに注意：先走りすぎる指示や、過去を蒸し返し感情的な比較などは子供の主体性を削ぐため意識して避ける。

◎「ルールに乗せる時代ではない。これからの変化の波に乗っていけるサーファーに育てよう！」

参加者からの声

- 興味深い内容でした。元気がもらえました。子どもの「心」を大切にしていきたいと思います。他地区のPTA活動のことも聞けてよかったです。
- 現代の子ども達に合った育て方が何なのかを考えるきっかけづくりになりました。子どもたちや保護者の方にも、ぜひ聴いてほしい内容だなと感じました。ありがとうございました。
- 「VUCA(不確実で変化の激しい)時代のサーファーになろう」「自分以外の他者の視点をもつ」「働くとは傍(はた)を楽(らく)にすること」など、子どもたちに伝えたいと思う言葉がたくさんありました。
- グループ協議ではとてもいいディスカッションができました。あっという間の時間でした。

子どもの権利条約(国際連合1989年採択)

☆4つの権利☆

- ・命が守られ、健康に育つ
- ・自分らしく成長し、能力を伸ばしていく
- ・あらゆる種類の暴力や差別などから守られる
- ・自分の意見や考えを自由に表現できる



※ 親子のトラブルを避ける合意形成の4ツール

- 「折衷：歩み寄り」 「説得：納得を促す」
- 「委任：委ねる」 「試行：条件付きでやってみる」